

**学級長田辺正二さんの開会のあいさつ**  
 寿学級は町内の65歳以上の人が集まっている学習グループです。今年170人が入っています。各地を視察したり、ゲートボール大会を開いたりしています。今回は私たちがまだまだ有権者ということで、町政についても協力していきたいと思いい、浅妻町長さんからも出席していただき、活発に意見を交わしたいと思います。

## 大外環状線のルートは板井の将来開発を考えて

永井善六さん(板井) ①板井に大外環状線が通るとのこと、大体方線がはつきりしてきたらしいがどの辺りか。②ふるさと創生の一億円は何に使うのか。  
 町長 ①二十五メートルの高規格道路で新幹線の橋脚を挟んで通すことになると思う。黒崎と味方の境界に通るとまっすぐになり田んぼが不正形にならないが、学校の手前など通すと不正形になってしまふ。板井全体の将来の大規模な場を含めた開発を考えてルートを決めなければならぬし、地元とも十分話し合っている。

②ふるさと創生資金で文化講演会などの事業を行い文化のレベルを上げていきたい。また、河川敷公園などの公園にも使っている。温泉掘削という案もあった

が、出てきた温水を石けんを除いて地中に戻さなければならぬなどの問題がありできなかった。

## ピーンくろさきの再開は安沢牧場が直売所を開店

永井善六 ピーインくろさきの今後はどうするのか  
 町長 努力したが最後に資金がショートして休店になってしまった。今後の案としては、一つは県から買ってもらうことだったが、これはだめであった。もう一つはテナント方式だが、土地のまた貸しになるので難しかった。三つめは多目的に利用することであった。結局、安沢牧場が借りてくれて、一階は肉の直売所になり七月二十一日オープンした。二階はステーキハウスになる予定だ。

# 年をとっても有権者

## 寿学級、町長と語る会

年をとっても町政に積極的に参加していこうと、寿学級では毎年、町長と語る会を主催しています。今年度は7月20日、中央公民館で、学級生24人が出席して開きました。当日は浅妻町長から町政の現状を伺ったあと、質疑応答を行いました。その模様を紙上からお伝えします。

## 遅れている当町の福祉 全体的には劣っていない

宮本 寛(善久) ①助役がよそから来たがどうしてなのか。②黒崎中学校は規模校すぎないか。教育は地域と学校が協力しないとうまくいかない。③福祉面で生活保護などが新潟市と黒崎町で違うようだが。④老人給食をやめてしまった理由は。⑤老人ホームは小さい自治体でできるようだが、黒崎にはできないのか。⑥善久保育所の改築は。あれは地域の人たちの協力で出来たものだが、老朽化し、この春も見学に来たお母さんたちが入所をやめてしまった。  
 田辺正二 新潟市はタクシー券の補助、味方村は牛乳のサービスなど各市町村で工夫をしている。  
 町長 ①合併など難問がたくさん控えて

## 座談会のピーン

## 新潟市合併のビジョンはよくなるのが絶対条件

野崎佐五郎(小平方) 町長が選挙を通じて訴えてきた新潟市との合併のメリットとデメリットを聞かせてほしい。私はもう八十歳だから、十年とか二十年先は生きていられない。早急にビジョンを示してほしい。

町長 私の選挙公約であり議会でも話している。時期は相手があることなので。新聞には、やらなくてはいけないので二年ぐらいでと記者に言ったら、二年と書かれてしまった。先日、議会の視察でこの四月に飯田市と合併する長野県の上郷村に行ったところ、十三年かかったとのことだった。事務レベルでは、この四月から広域行政対策課をつくり、新潟市と黒崎町の比較表を作っている。これに一年ぐらいかかる。合併は今よりよくなるのが絶対条件であって、大きな視野に立って考えている。

## 合併が後退したのではあせらず取り組みたい

田辺正二さん(板井) 選挙のときに比べるその後退したのではないか。四年後なら四年後と目標を定めてやってほしい。でない、多くの町民を裏切ることになる。言葉は悪いが、議員は合併すると自

だけ造れ、といわれたことはよく覚えている。しかし、財政を考えると老朽化した善久と立仏を統合していい施設にした方がよいのでは、とも思う。

## 黒崎の歴史に残る町長に期待に添うよう全力投球

山際寅作(大野) 最近の世相は金丸信の裁判、仙台市長の汚職など見るに耐えない。当町も胸を張れない部分があることは皆さん知っての通りだ。新潟市と合併すれば、浅妻町長は、最後の黒崎町長になるかもしれない。ぜひ、立派な後世に残る町長になってほしい。

町長 早いもので来月七日で選挙から半年がたつ。町制施行後、七代目、明治三十四年の黒崎村誕生以来二十五代目、民選で十三代目の首長になる。今、七十二



分のクビが危なくなるので内心反対しているのではないかと。合併問題はもう何十年も前からのことであり、これ以上引き伸ばすのはどうかと思う。  
 町長 後退ということではない。先ほど述べたように広域行政対策課も作ったし、議会も視察に行っている。ただ、あせらないうで取り組みたいということだ。

## 黒崎荘の脱衣所を広げてもうすぐは難しいが考える

長谷川トトリ(鳥原新田) 黒崎荘の女の脱衣場がせまい。おしりがぶつかると広げられないか。  
 町長 補助金をもらって造っている、一定の年月がたないと建物をいじられない。なんとかうまく利用できるように考えてはみる。

歳だが十分に健康だし、全力を挙げて町政に取り組み、期待にこたえたい。間違いがあつたり、批判もあるかと思いますが、今後のご協力をお願いします。

## 原温泉

- ④書道、つづり方教室 12月 黒崎荘
- ⑤忘年会、講演、交流会 12月 黒崎荘
- ⑥学習会、体験発表 平成6年1月 黒崎荘
- ⑦ゲートボール大会 2月 総合体育館
- ⑧民謡・歌謡教室 2月 黒崎荘
- ⑨文集「折鶴」の発行 3月

## \*寿学級の今後の予定

寿学級ではいつでも学級生(65歳以上)を募集しています。役場の社会教育課☎377-3101に連絡してください。

- ①民謡教室 10月28日 改善センター
- ②文化祭 11月2日~3日 総合体育館
- ③修学旅行 11月29日~12月1日 栃木県塩